

一宮町長  
馬淵 昌也

今回も、またコロナの話題で恐縮です。

7月下旬、オリンピック開始の前から、一宮町で急に新型コロナ陽性者の方が複数報告されるようになりました。8月上旬になると、一日6人8人と報告されるようになり、急激な増加で、一時は全国一の増加率だ、といわれることもありました。

それまで、一宮町は緩やかな感染状況でしたので、大変驚きました。この感染の急増に対して、オリンピックの開催が原因ではないか、との見方もありました。

ただ、全体状況として、一宮町のみならず、長生村・茂原市での感染拡大も大きなものがあります。長生都市すべて増えています。この三自治体の増加数が際立って多いのです。これを見ると、三自治体の千葉・東京方面とのアクセスのよさが、どうやら主要因と考えられます。今回はデルタ株の蔓延で、都会部での感染が従来以上に大きく伸びました。この影響が私たちの地域にも及んだと考えるのが、穏当な認識だと考えられます。

今回の波では、自宅療養者の方が多く報告されました。自宅療養者について、

て、これまでは町に権限が与えられておらず、町はお世話をできませんでした。たいへん悔しいことでしたが、県と協議の結果、今後は町がその一端を担うこととなりました。また、保育所や学校で陽性者が出た場合、必要な検査を町行政でも行う体制も整えました。

また、ワクチンの接種は、一宮町は県内でも速やかに進んだ方であり、9月8日段階で接種対象となる町民の方の62・5%が少なくとも1回の接種を受けておられます。県平均は51・5%です。今後も、個別・集団の二つのルートで、11月中旬までに希望者への接種を終える予定です。

現在、全国的に新規陽性者が減少傾向にあります。一宮町でも顕著に減っており、ここ暫くは0人の日も多くみられます。

しかし、ここで気を抜くことはできません。すでに新しい変異株も複数報告されています。昨年は夏のピークを終えた後、年末にもっと巨大な波が襲ってきました。今年も、そうした展開となる可能性をにらんで、最大限の警戒で冬を迎えたいと存じます。町民のみなさまも、どうか充分にお気を付けてお過ごしください。